

中山拓海

1992年静岡県富士市に生まれる。国立音楽大学を首席で卒業。大学時代、早稲田大学モダンジャズ研究会及び早稲田大学ハイソサエティ・オーケストラに在籍し山野ビッグパンド・ジャズ・コンテスト最優秀賞を2年連続受賞、並びに最優秀ソリスト賞受賞。GUCCIタイムピーシズ&ジュエリー日本音楽基金より史上初の奨学生として選出され記者会見にてJUJUと共演。札幌シティージャズではハービーハンコック氏のステージのオープニングアクトを務めると同時に、ハービー氏によるプライベートレッスンを受ける。ロサンゼルスで開催されたグラミー主催、全米選抜メンバーが集まる"グラミーキャンプ"に日本代表として全額スカラシップを受け参加。多国籍ジャズ・オーケストラAsian Youth Jazz Orchestraにてコンサートマスターを務め、アジア六カ国でツアーを行う。また1990年代生まれのジャズミュージシャンを中心とした音楽ムーブメントJAZZ SUMMIT TOKYOのディレクターを務め若手ジャズシーンを牽引する。同主催JAZZ FESTIVAIではクラウドファンディングにより資金調達し、300人規模のイベントとして成功を収める。アゼルバイジャン共和国で開催されたバクージャズフェスティバルに自身のバンドで出演など国外にも活動の幅を広げる。2017年ジャズ雑誌"JAZZ JAPAN"の"2010年代に頭角を現した新鋭アーティスト60"に選出される。現在、リーダーバンドの他に、鈴木勲(b)オマサウンド、竹内直(ts)MNO、さがゆき(vo)とのユニットなどで都内を中心に演奏活動を行う。これまでに秋吉敏子氏、山下洋輔氏、小曽根真氏等と共演。学習院大学スカイサウンズオーケストラ講師。